



機会に感謝 「いまこそ、秋田」

〔秋田市観光クチコミ大使〕
三英堂事務機株式会社
営業部長

おお ひとし
大 越 仁 氏

距離間を楽しむ

秋田を離れて2年が経ちました。つい昨日のことのように思い出がたくさん蘇ってきます。

秋田へ来た時の第一印象は、同じ東北だけど「確かに遠いなあ」でしたが、それから秋田に魅了されるまでの時間はかかりませんでした。角館の桜、大潟村の菜の花、山も街も新緑に染まり、夏の寒風山から見た海岸線の美しさ、稲穂の波、旬の食材とお酒、温泉に祭り、秋田は眩しく輝いていました。そして、これほどに故郷を想い人と人との結びつきを大切に一体感があり、いつも一生懸命でやさしい方々との多くの出会いは、公私ともにこれまでの人生で一番充実した時期であったと思います。この秋田での経験が、改めて故郷福島の良さを再発見する活動に結びついて現職で活かされております。

東京への出張は秋田新幹線、実家への帰省は高速バスを利用し敢えて片道4～5時間をかけて距離間を大いに楽しんでおりました。高速バスでは、秋田中央ICを降りてノースアジア大学辺りで乗客が各々に下車準備を始める頃合いで県道62号線から見下ろす夜景は、「やっと着いたか」という安堵感で何とも言えない感覚に浸り特に好きな光景で目に焼き付いております。

機会に感謝

2018年9月に秋田支社は創立50周年を迎えました。この大きな節目に立ち会えたことと、長年の社員の願いであった秋田事業所をはじめ大仙・本荘・能代の各事業所をリニューアルし、特に想いを込めたViCreA※秋田を構築できたことは、諸先輩方や社員をはじめ多くの方々に支えられてこの機会を頂いたと心より感謝しております。そして、ここから「元気な秋田」を全国に向けて発信することができました。

※ ViCreA（ヴィクレア）は、Value innovation Creative Area の略で「価値変革のための創造的な空間」を意味します。

いまこそ、秋田

新型コロナウイルス感染症の拡大は未だ留止まりません。依然として経済は観光業界を中心に大変厳しい状況が続いています。そのような中、嬉しいニュースが届きました。コロナ禍の中、広いエリアで今冬は非常に雪が多く行動がかなり制約を受け厳しい環境の中で、リコージャパン秋田支社の若い社員がオンライン商談を積極的に活用し、大きな成果を上げている事例が全国に紹介されました。

ニューノーマルな時代になって、「いまこそ、秋田」ではないでしょうか？

ワーケーション、バンライフなどの新しい言葉もキーワードの一つになっていると思います。

もともと距離と時間がかかる地域だからこそ、距離間を楽しみながら時間を共有する。そんなワークライフの在り方がこれからの秋田の存在価値を高めていくのではないのでしょうか。

改めて秋田を思うと、食と農、海と陸の豊かさ、豊富な文化遺産と自然遺産、質の高い教育、クリーンエネルギー技術への投資等々環境・社会・経済の側面から持続可能な地域社会を形成するための多くの要素が存在しています。「環境が人を変える。人が会社を変えていく」この要素を活かし地域に存在する企業が発展し、持続可能な地域社会形成への貢献に繋がることを期待します。「いまこそ、秋田」新しいことをここ秋田でやってみたい。こんな気持ちにさせる秋田の魅力を伝えるために、微力ではありますが秋田市観光クチコミ大使の一員として今後もお役に立ちたいと思います。

■略歴

1959年 福島県生まれ
1983年 現リコージャパン株式会社 入社
2016年 同社 秋田支社長
2020年 三英堂事務機株式会社 営業部長(出向)
現在に至る